平和かわら版【平和新聞茨城版】 No.998 2024 4.5 2
発行 茨城県平和委員会 https://ibaheiwa.web.fc2.com/
〒310-0912水戸市見川5-127-281 Tel/Fax 029-251-2806
E-mail：i-peace877@silk.plala.or.jp

平和新聞 2024/4/5号 2348号（毎月5,15,25日発行）
1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部160円 月額470円 郵便料月額126円
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9平和会館 Tel/03-3451-6377

第３回常任理事会報告　参加者11人が発言

― 当面の活動・方針及び定期大会議案について討議！―

第３回常任理事会が３月30日（土）、水戸共同ビル２階で開催されました。前日の「春の嵐」から一転、シャツ一枚で過ごせる陽気になり、ドリップコーヒーを淹れてもらいながらの会議になりました。常任理事15人中11人が参加。最初に「初午祭」と「９条の碑除幕式」に史上最高の550人が集い、大成功したことを喜び合いました。

自民党の組織的裏金問題やガザ地区での無差別攻撃など情勢に触れながら、地域活動の悩み、定例役員会をもつ難しさなども話題になりました。役員会ではなく世話人会と名称を変更したら「世話人」の立候補があった、会が補助金を半額出してコーヒーを飲みながらの会議にした、飲み会と学習会に会員を誘っている、会費集金の際に話しかけるようにしているなど様々な工夫も出されました。コロナ感染症蔓延による３年余の活動停滞の影響が出ている、地域ブロック会議を改めて開催することが必要ではないかという意見もありました。

当面の活動方針及び定期大会議案の総括のポイント、方針案等について意見交換しました。「５・３憲法フェスティバル」に向けて「カンパ」のお願いをする、戦争と平和パネル展に関して「パネル」新調のための賛同金をさらに広げることを確認しました。また来年度の常任理事について各地域から選出してもらう働きかけをすることについても話が及びました。

石井事務局次長から「仮決算報告」の説明があり、次年度「繰越金」が約110万円（今年度の倍）となったといううれしい報告がありました。

定期大会議案については、５月11日（土）開催の第３回理事会に提案され、さらに６月９日（日）定期大会で議論されることになりました。理事会には、県平和委員会が入居している「平和会館」の運営等に関して提案するということになりました。

憲法改悪反対、平和を求める総がかり行動！

総がかり行動は、雨天決行。自民党政治ノー、殺傷武器輸出反対、ガザ地区でのジェノサイド即時停止などを訴えます。

日 程　**4月24日**（水）　正午から午後１時まで
場 所　**水戸駅南口**　ペデストリアンデッキ

寄稿1

脱原発水戸アクション（金曜行動）・500回超え

《報告　小山省吾》

福島第一原発（2011年３月11日）の事故後、いち早く国会前で“毎週金曜日”に脱原発アクションが始まりました。それを受け、日本原子力発電支所の入っている水戸合同庁舎前で“毎週金曜日抗議行動”がおこなわれるようになりました。３月29日（金）、524回目の行動になりました。以下、脱原発運動などについて報告をします。

１ 原発の脅威

福島第一原発の事故後13年を経て、国内外から発せられた「海を殺すな」などの抗議の声を無視し、日本政府は「汚染水」放出を強行しました。能登半島地震のような自然災害だけで治まっていれば、次の日から生活復興は行えたのです。撒き散らされた放射能は、見えず臭わず、福島の大地を汚染しました。ペットを捨て、家畜を殺し、大地を削り、放射能まみれの家を解体しなければならなかったのです。「原発さえ無ければ」と自殺した人もいました。原発は、地震の恐怖を何千倍にも高めます。地震の都度、東海第二原発の状態を心配しなければなりません。

２ なおも続く福島第一原発の危機

人も生物も放射能に近寄りすぎれば死にます。解体工事の本丸、原子炉に手を付けることなど50年先、100年先もできるとは思えません。さらに悪いことには被災した原子炉は足元が壊れ、錆びて劣化も進んだ構造物の上にあります。原子炉は傾いているとのこと。原子炉が倒れたら、…福島の「危機」は、今もなお私たちの日常に迫っているのです。

３ 「３・11を忘れない」水戸駅南口アクションに参加

ドイツは、「３・11」から原発産業に「明日の平和はな

裏面へ→

い」と学び、原発を止めました。持続可能社会、豊かな社会など改めて問い直さなければなりません。その分岐点になったのは「3・11」です。その「記念日」と言えます。しかし、残念ながら日本政府と企業は、惨事便乗型産業にしがみつき、原発再稼働に舵を切りました。あまりにも後ろ向きです。

「3・11」の日、正午から集会があり、50人が集いました。「ヨー久しぶり」「あらー来てくれたの。元気そうで」「金曜行動に参加できず恐縮している」など、たくさん声を掛けてもらいました。より良い社会を築く思いは一つ、と力づけられました。

4 民主政治は「人民が、人民による、人民の為の政治」

知人に「明日は、何で休むの?」と聞かれ、「明日は、原発反対の金曜日行動なので」的なことを言い休みます。すると「原発を動かさないと電気代が上がる」「原発でなくても危ないものは色々ある。気にするな」「反対で休む。エライ」「反対しても無駄」「原発に反対している党は」「どの政党が一番いい」「私も原発イヤ」、その都度話の場は広がります。

ここで言いたいことは一つ。「反対しても無駄」は違う。政治的無知が許されるのは、子供のみ。大人は経験を種（モト）に、より良いバトンを次の世代に手渡す責任をもっているのです。

5 脱原発「金」アクションは市民の連帯アピール

政財界は「金だけ、今だけ、自分だけ」の金権腐敗政治。市民を利用しても、市民の暮しを良くしようなどとは考えもしない。そうでなければ世の中、こんなに生きにくくなる訳がありません。色々頭に来ますが、政治は我々のもの。自ら意思を示さなければ民主主義は終わりです。脱原発「金」アクションは、反戦平和運動、反差別運動と同じ「質」を持った集いです。

6 市民の権利主張は微力でも無力ではない

脱原発「金」アクションも13年が経って、老いや病から参加できなくなった人が多くなりました。淋しい人数となっています。それでも週に1回、市民の権利の主張の場になっています。あなたが参加してくれれば嬉しく、みんなの励みになります。数は力。あきらめず頑張りましょう。《編集部より：趣旨を変えずに少し短くしました》

寄稿2

6年ぶりに3・1ビキニデー集会に参加

楽しく、共感しながらの取組みが長続きのコツ

被災70年の今年、6年ぶりに3・1ビキニデー集会に茨厚労メンバー4名で現地参加しました。この6年間を振り返ってみると新型コロナの感染拡大、ロシア軍のウクライナ侵略、イスラエルによるガザ地区住民への無差別攻撃と続き、世界中で命を軽んじる流れが加速しているのではと危機感を感じながらの参加でした。

2021年1月22日「二度と繰り返してはならない」と命を懸けた被爆者の訴えが核兵器禁止条約を発効させ、核兵器廃絶を願う一人ひとりの力によって署名93カ国、批准70カ国にまでになっているにも拘わらず、唯一の戦争被爆国日本は署名も批准もしないどころか締約国会議へのオブザーバー参加さえしない恥ずかしい状況です。世界からみればそれを許している国民も愚かであるとみられているのではないだろうか?との思いもありました。

集会の中でリトアニア代表の方から核兵器の無い世界をめざす取組みとして、学校でのパネル展示で子どもたちに被曝の実相を伝える力を発揮しているという報告、若い世代へのエールとして世界中の若者が「核廃絶は実現できる!と信じて世界の人達と友人になることが平和につながる。若い人にはその力がある。真実を追い求めて、勇気と情熱を持って取組んでいってほしい」との激励の言葉が印象的で、県平和委員会で取組んでいる高校生の描いたパネル展はとても意義のあることだと実感する言葉でもありました。

世界終末時計が示す残り時間はあと90秒。されど90秒。まだまだやれることはあると前向きになれた集会でした。3・1集会の会場には1955年8月6日に開催された原水爆禁止世界大会国民募金録や署名が展示されていました。核兵器を無くしてほしい!の思いが今に引き継がれていることを目の当たりにし、このバトンをつないでいくことが今を生きる私たちの責任でもあると感じさせるものでした。

2月29に開催された「2024年3・1ビキニデー日本原水協全国集会」後、全厚労ピース学習会あり、医療労働組合の平和活動交流から「楽しく」「共感」しながらの取組みが長続きするコツだと確認。LOVE&PEACEを世界にひろげていきましょう。

《報告　ソーニチカ　ら・ら・ら平和委員会》

はみだしコラム　はみだしコラムを募集してます!あなたの気になること、言いたいこと、また、クスッとしたこと、ほっとしたこと、思わず笑っちゃったことなどなんでもOK!ぜひ表面連絡先へ、100字以内でお待ちしてます!（編集部）